土佐リハビリテーションカレッジ　教育ポリシー

ディプロマ・ポリシー

① 医療専門職としての品格と素養を身につけている。（教養）

② 医療専門職として対象者に寄り添い、最善を尽くすことができる。（倫理）

③ 医療専門職としての基礎的知識を修得し、適切に応用することができる。（知識）

④ 医療専門職としての基本的技術を修得し、適切に選択すると共に安全・確実に実践できる。（技術）

⑤ 専門職としての科学的思考を身につけ、問題解決のための方法を志向できる。（科学）

⑥ 医療福祉における職業的役割を理解し、多職種と協働して活動できる。（協働）

⑦ 社会における医療職の役割を自覚し、専門職として地域社会に貢献できる。（貢献）

カリキュラム・ポリシー

① 1 年次から 4 年次に向け、基礎科目から専門的科目、それらを統合する総合科目へと重層的に授業科目を配置して学修成果を積み上げる。

② 国家資格のセラピストを養成する課程として、養成校指定規則に準拠した基礎科目、専門基礎科目、専門科目、臨床実習科目を配置する。

③ 基礎科目では学生個々の興味と関心に基づく幅広い教養を身につけ、コミュニケーション能力を培う。

④ 専門基礎科目ではリハビリテーション関連分野の学修を通して科学的思考力を育み、医学的かつ専門的な知識を修得する。

⑤ 専門科目ではリハビリテーション分野における治療方法を修得し、専門職としての実践力を養う。

⑥ 実習科目ならびに演習科目を各学年に配し、学修段階に応じた実践的技術（スキル）を身につける。

⑦ 臨床実習においては科学的思考に基づく知識技術の応用、倫理観や協働意識のあり方を体験する。

アセスメント・ポリシー

土佐リハビリテーションカレッジでは「ディプロマ・ポリシー」、「カリキュラム・ポリシー」、「アドミッション・ポリシー」に基づき、機関レベル（学校）・教育課程レベル（学科）・科目レベル（授業・科目）の３段階で学修成果を査定する方法を定めている。

① 学校全体（機関）レベル

学生の志望進路（就職率、資格取得等）から達成状況を検証する。

② 学科（教育課程）レベル

各学科における単位修得状況、評定、資格取得状況から教育課程全体における学習達成状況を検証

③科目レベル

シラバスで提示された授業科目の学修目標に対する評価、および授業評価アンケート等の結果から、科目ごとの学修成果の達成度を検証する。